



SS Killers! 2016 RIDING SPORT CUP
競技規則書

第一章 大会概要と競技規則

1 競技会名称

SS Killers!!2016 RIDING SPORT CUP

2 主催、後援、協賛

主催 / 桶川スポーツランド

〒363-0027 埼玉県桶川市川田谷上野 7921-3 TEL.090-3234-8888 web <http://osl.in>

後援 /RIDING SPORT

協賛 / 各戦ごとに大会公式プログラムにて発表

SS Killers!!2016 RIDING SPORT CUP 開催概要及び目的

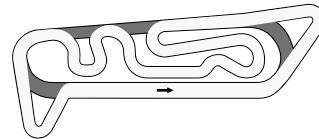
予選タイムアタックによりグリッドを決定し、8~12周のスプリント方式にて決勝レースを行う二輪競技を主とした大会。2016年は全3戦で争う。RIDING SPORT CUPとして開催される。本大会は、社会全体にモータースポーツが認知されるとともに、ライダーの健全な発展を願うべくモータースポーツ振興の一端に貢献することを目的とする。

3 大会組織

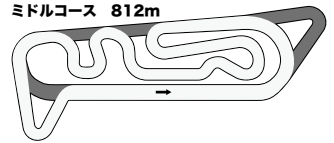
- 競技長 鎌田 悟 (桶川スポーツランド)
- その他競技役員、オフィシャルは当日発表
- 写真撮影 澤野 将 / 安食隆正 (桶川スポーツランド) 他
- アナウンサー 菅野 大輔 (R2,R3)
- SS Killer Bee Queen 2016
多井子・橘しおん

使用コースレイアウト

新コース 840m



ミドルコース 812m



第1戦、第3戦は新コース、
第2戦はミドルコースで行う

4 開催日程と開催クラス

(1) 5/8 (日) (2) 7/10 (日) (4) 11/20 (日) 全3戦

※ CBR250R DREAM CUP は関東ロードミニ選手権と転戦して行う。

- (1) 関東ロードミニ選手権 R1 4/3 (日) 新コース
- (2) SS Killers! R1 5/8 (日) 新コース
- (3) 関東ロードミニ選手権 R3 6/19 (日) ミドルコース
- (4) 関東ロードミニ選手権 R4 10/30 (日) 新コース

3 開催クラス

クラス	車両及び概要	参加対象	年間表彰
single2	2st シングルクラス。2st125cc ~ 200cc で単気筒のロードバイク。 (レーサー車両の参加も可)	大型バイク②枠で走行出来る者。(新コース 47 秒台 / ミドル 45 秒台以上速く走行出来る者) 混走別表彰。 5 台以下となり不成立となった場合は multi2 と同一表彰とする。	○
multi2	2st マルチクラス。2st250cc 以上で 2 気筒以上の市販ロードバイク。	大型バイク②枠で走行出来る者。(新コース 47 秒台 / ミドル 45 秒台以上速く走行出来る者)	○
twin4	4st ツインクラス。4st250cc 2 気筒以下の市販ロードバイク。	大型バイク②枠で走行出来る者。(新コース 47 秒台 / ミドル 45 秒台以上速く走行出来る者)	○
multi4	4st マルチクラス。4st400cc 以下でマルチエンジン等の市販ロードバイク。	大型バイク②枠で走行出来る者。(新コース 47 秒台 / ミドル 45 秒台以上速く走行出来る者)	○
CBR250R DREAM CUP E&B	HONDA CBR250R ワンメイクレース。車両規則に関しては、HRC のサイトを参照の事。 関東ロードミニと転戦して開催する。	B= 大型バイク①枠 (新コース 48 秒 / ミドル 46 秒) を上回らない者。SS Killers! では PROGRESS と混走別表彰。 E= 大型バイク②枠 (新コース 47 秒台 / ミドル 45 秒台) 以上速く走行できる者。SS Killers! では Twin4 と混走別表彰。	E のみ ○
MOTARD SE	2st101cc/4st151cc 以上のモータード車両。 例外として CRF150R-YZ85 等の参加を認める。	新コースを 43 秒台 (ミドル 41 秒台) 以上速く走行出来る者。	○
MOTARD E	同上。ただし SE 以外のモータードクラスに関してはエントリー台数のバランスを見て、それぞれ混走別表彰となる場合がある。	新コース 44 ~ 45 秒台 (ミドル 42 ~ 43 秒台) のタイムで走行出来る者。	
MOTARD MID	同上	上記 E クラスのタイムに満たない者。	
MOTARD SP-E	公道走行可能タイヤを装着した、400cc 以下の市販車モーターマシンクラス。CRF-X/WR-F 等のレーサーをベースとした車両の参加は不可。(外国車要確認) ただし CRF150R、YZ85 等は例外として参加を認める。	新コース 46 秒台 (ミドル 44 秒台) 以上速く走行出来る者。	○
MOTARD SP-MID	同上	上記 SP-E クラスのタイムに満たない者。	
PROGRESS	SS Killers! 内のモータード以外のクラスに該当するロードバイク。	新コース 47 秒台 (ミドル 45 秒台) の目安タイム付近に該当する者。ノービスと上位クラスの中間に位置するライダー対象。	
novice A	SS Killers! 内の何れかのクラスに該当する車両。B・C クラス予選時に基準タイムを切った場合クラス昇格。(A はタイム加算) 決勝で基準タイムを切った場合も該当した周りにタイム加算のペナルティーが課される。台数により混走別表彰となる場合がある。 ノービス他クラスとの W エントリーは不可。	新コース 48 秒 (ミドル 46 秒) を上回らない者。	
novice B	同上	新コース 50 秒 (ミドル 48 秒) を上回らない者。	
novice C	同上	新コース 52 秒 (ミドル 50 秒) を上回らない者。	
SS Killers! 走行会枠	スポーツ走行枠。大型バイク枠の車両規定を満たしているバイク。	装備や走行ルール等、フリー走行規定に準ずる者。	
サーキット ツーリング	プロライダー先導付きサーキット体験走行枠。オイル漏れや破損等がなく安全に走行できるバイク。	バイクの基本操作が問題なく出来る者。厚手の長袖長ズボン、ヘルメット、グローブ、足首まで隠れる動きやすいシューズ以上の安全性を満たした装備である事。	

5 参加資格

常識を持ち、スポーツマンシップにのっとった行動ができるもの。SS Killers! の開催目的や規則を熟知し順守できる者。ライディングスポーツメンバーズ、桶川スポーツランドスポーツ保険のいずれかに加入しているもの。20歳未満の者は親権者の参加同意書が必要。

6 参加者の遵守事項

すべての参加者は、競技開催中はオフィシャルの指示に従うこと。

- ・SS Killers! 競技規則書を熟読している事。
- ・競技中の飲酒はしない。コースからの行き帰りにも飲酒運転をしないこと。
- ・競技中に薬品等に依存し精神状態をとりつくろってはならない。
- ・指定された場所以外での喫煙及び火気を伴う器具を使用してはならない。
- ・参加者の健康状態に異常がある場合は参加してはならない。

7 参加申し込み方法

★ いずれも参加申し込みは開催 1 週間前までとする。

1) サーキットへ直接持参

申込用紙+ハンコ+エントリー費が必要です。

代理エントリーの場合は本人署名を記入してからご持参ください。

2) 現金書留で郵送

現金書留の封筒に申込用紙+エントリー費を入れ下記住所に送ってください。

保障されないため普通郵便で送らないでください。

〒363-0027

埼玉県桶川市川田谷上野 7921-3 TEL 090-3234-8888

桶川スポーツランド 宛

3) ネットエントリー

桶川スポーツランドの HP よりネットエントリーフォームを利用しお申込みください。

利用される方は okegawasportsland@gmail.com からの返信メールを受け取れる設定にしておいてください。

※締切日（開催 1 週間前）以降の支払いは +1,000 円になります。

※エントリーフィーは原則振込となります。

8 エントリーフィー（参加料金）

■サーキットツーリング…500円 ■走行会枠…15分 1本 1,000円

■その他のクラス…

トランスポンダー無し → 8,000円

マイポンダー有り → 7,000円

※ダブルエントリーの場合 1,000円控除。

※一人のライダーが同時に 3 クラス以上のレースにエントリーする事は、安全面を考慮し認められない。

※開催 1 週間前のエントリー締切を過ぎた後のエントリーフィー支払いは、レイトフィーとして 1,000円が加算される。

なお、エントリーするにあたり指定された保険への加入が必要となる。

【補足】トランスポンダー使用に関して

今季から、レースに使用されるトランスポンダー（マイラップス社計測器）の有無によって、エントリーフィーが異なります。クラスをまたいでトランスポンダーの付替えを無くし、レース進行の円滑化をことが目的ですが、サーキットにおいて計測器を維持するのが難しくなってきたという部分もあります。大変申し訳ありません。ご理解のほどよろしくお願ひします。

※トランスポンダーの購入などに関しては別紙の案内を御覧ください。
現在個人の年間計測器レンタルシステムなどが充実しています。

9 クラスわけ

エントリー台数がフルグリットを超えた場合、決勝は第一、第二決勝にクラス分けをしてレースを行う。

- ・21 台以下…1 クラス
- ・22～39 台…2 クラス（第一、第二決勝）

台数の片寄りを防ぐ為、エントリー台数が 22～28 台の場合は予選上位 65% を第一決勝、それ以外を第二決勝としてレースを行う。・29～39 台の場合は、予選上位 18 台を第一決勝とし、残りが第二決勝となる。なお、第二決勝の上位 3 名のライダーには、第一決勝への出走権が与えられる。（任意参加）

10 不成立

原則として各クラスエントリー数が 5 台以下の場合には不成立となり他のクラスと混走となるか、レースは開催されない。その場合の判断は主催者と参加者協議のうえ決定する。

11 賞典

賞典対象台数は、各クラス決勝出走台数をもとに下記のように制限する。

- 不成立台数…1 位のみ
- 6 台～11 台まで…3 位
- 12 台以上…6 位

ごくまれに賞典外の選手が出場することがあるが、その場合賞典外選手は参加台数に含まずに賞典・ポイントを割り当てる。
例) 決勝出走台数 12 台のレースで、賞典外の選手が 3 名いた場合 12 台から 3 台差し引き台数を 9 台と数える。つまり 3 位までが表彰される。

12 シリーズ表彰

全 3 戦で延べ 24 台以上の参加台数があった場合は 3 位まで年間表彰され、次年度の走行料金やエントリーフィーが優遇される。上記台数に届かなかった場合は、1 位のみ表彰される。不成立（5 台未満）のレースがシリーズ中に 1 回以上あった場合は、シリーズ表彰を行わない。シリーズ表彰の対象となるクラスについては 3 開催クラスの表を参照の事。

■ 予選出走台数とポイント加算（入賞）制限 ※ただし、ポイントが付与されるライダーは決勝出走者（DNS は不可）のみとする。

順位 \ 台数	20 台以上	19 台	18 台	17 台	16 台	15 台	14 台	13 台	12 台	11 台	10 台	9 台	8 台	7 台	6 台	5 台	※4 台	※3 台	※2 台	※1 台
1 位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	10	10	10	10	10
2 位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	7.5	7.5			
3 位	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12					
4 位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10							
5 位	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8									
6 位	6	6	6	6	6	6	6	6	6											
7 位	4	4	4	4	4	4	4													
8 位	3	3	3	3	3															
9 位	2	2	2																	
10 位	1																			

★シリーズランキングは、年間で獲得したポイントの合計により最多ポイント獲得者をシリーズチャンピオンとする。章典外選手が出場した場合は、第 11 章 - 賞典と同様に扱いポイントを振り当てる。

同ポイントの場合は

- 1) 優勝回数の多い者
- 2) 上位獲得回数の多い者
- 3) 最終戦上位の者
- 4) 参加回数の多い者の順で順位を決定する。

※ 2) の詳細は MFJ 国内競技規則参照

13 再車検

レース終了後、入賞車両は一定時間保管され、ランダムに再車検を行うクラスを決定する場合がある。

呼び出しのあったクラスの該当ライダーは、所定の場所に集合する事。

再車検により違反が見つかった場合は、当該レースを失格とし、以降のレースの出場に関しても制限される場合がある。

14 抗議

抗議できる権利を有しているのはライダーであり、他者からの抗議は一切受け付けない。抗議する場合はいかなる場合でも抗議保証金 10,000 円を添えて大会競技長に提出すること。抗議保証金は大会競技長の判断により返還される場合もある。

15 ペナルティー

ライダー、ピットクルーは大会規則、大会役員の指示に従い違反行為のあった場合に課せられたペナルティーに関しては抗議できない。

種類	ペナルティー
フラッグ無視	厳重注意またはタイムの加算または失格
フライング	ストップ&ゴー（ピットストップ）
ショートカット	厳重注意または順位の降格または失格
ダブルチェッカー	一周減算
危険行為	厳重注意または順位の降格または失格
音量オーバー	1回目 = 厳重注意 2回目以降 = 失格（出走不可）
白線ラインカット	ストップ&ゴー（ピットストップ）
ノービス基準タイム超過	※黄旗無視と同等のペナルティー

その他の記載されていない事柄に関しても競技長の判断によりペナルティーとなることがある。すべての違反行為については競技長の判断を最優先とする。目安として、予選中の黄旗無視は2秒、決勝中は5秒のタイムが加算されるものとする。

16 レースの中断、再開

やむを得ない事情によりレースの続行が危険と判断された場合、競技長は走行中のレースを中断することができる。

レース中断の指示は、コントロールライン脇のメインポスト他数カ所より赤旗を提示、またはレッドシグナルによって合図される。

・赤旗中断となったレースがスタートから2周未満の場合、当該レースは無効とされ、再レースが行われる。

・スタートから2周以上※85%未満の場合は残り周回数分を2ヒート目のレースとして行い、

85%以上の周回を消化していた場合は完走扱いとなり、そのまま最終結果として適用される。

・2ヒート制となった場合の最終結果は、各ヒートの周回数を合計し、最多周回数のライダーが優勝者となる。

周回数が同数の場合は、最終レース結果が優先される。

※85%の周回数は、15周の場合12周、12周の場合10周、10周の場合8周、8周の場合7周。

17 主催者側の権限

主催者は理由を明かすことなく参加を拒否できる。大会に関する参加者、同業者及び肖像権や音声、写真、映像等に関する権限は主催者にあるものとし第三者に対してその使用を許可できる。

18 保険制度

参加者は桶川スポーツ安全保険もしくはライディングスポーツメンバーズに加入していなくてはならない。

上記の保険は、桶川スポーツランド・チームライディングスポーツが設立した保険団体であり、『(財)スポーツ安全協会』が運営する『スポーツ安全保険』に加入し、登録競技者、イベント参加者の不慮の事故に対して補償するものとし、

当レースエントリー時には加入が必須となる。レース当日怪我を負った場合は救護室にて手当を受け、事務局で事故申請書を受け取る。救護室での当日の処置記録が無い場合、原則として保険の申請は出来ないものとする。

桶川スポーツ安全保険及びライディングスポーツメンバーズの詳細、加入方法、補償額などについては別紙参照の事。

19 中止

天候などにより中止になる場合は事務手数料1,000円を引いた金額を返金する。

ただし中止の決定は原則として現地で主催者がするものとし、第三者は決定できない。

20 参加者の装備

・フルフェイスヘルメット……JIS T8133・2種以上のものか、それと同等以上の安全性を満たしているもの。(SNELL規格可)

・ヘルメットリムーバー……メーカー自由。

・レーシングスーツ……MFJ公認である事が望ましい。セパレートの場合はファスナー等で接続出来るタイプである事。

・レーシンググローブ、ブーツ……皮製でプロテクション機能が備わっているレース用の物。

・脊髄パッド・チェストプロテクター……チェストプロテクターに関しては必備ではないが、装着していることが望ましい。

ただし、著しい破損や汚損がある場合は使用を認めない場合がある。その他、走行に支障をきたす恐れのある装備品（シッポや上着等）は、認められない場合がある。

21 使用燃料

各クラス競技車両に使用する燃料は、一般ルートで購入出来る無鉛ガソリンである事。AVガス、レースガス等の使用は禁止。

ただし、2stオイルの混合・燃料添加剤の使用は可。

22 車両規定

- ・エンジンとフレームは、同一車種のものであること。(年式違いのパーツ流用可。)
 - ・2st101cc以上、4st151cc以上の車両である事。ただしCRF150やYZ85等、小排気量モトクロッサーの参加を認める。
 - ・ガソリンキャッチタンクを取り付ける事。(キャブレター車のみ)
 - ・オイルブリーザーホースが大気開放されている場合は、キャッチタンクやエアクリーナーBOXを介し、吸気循環方式を取ること。
 - ・オイルフィルターキャップ、チェックボルト、ドレンボルトには有効なワイヤーロックを施す事。
- また、ブレーキまわりに関しても、ボルトやパッドピンにワイヤリングを施すことを推奨する。
- ・ラジエターにクーラントが入っている場合は、水もしくは水とアルコールの化合物に交換しておく事。(ワコーズヒートブロック、ケミテック等)
 - ・ハンドルを左右一杯にきった時に、タンクやカウルに指を挟まない様に間隔を保持する事。また、ハンドルにはバーエンドかカバードタイプのグリップを取り付ける事。
 - ・バックミラーは危険なので必ず取り外す事。また、リアキャリア等スポーツ走行に必要なないパーツも取り外す事。ナンバープレートは取り外す事が望ましい。
 - ・ライトやウインカー等の保安部品は取り外すか、ビニールテープにてテーピングする事。
 - ・チェーンガード及びF・Rのスプロケットガードは取り外さない事。また、ドリブン(R)スプロケット下側には、スプロケットガードが装着されていることが望ましい。
 - ・ブレーキレバー・ペダル・ステップやステー等は安全上先端が中空でなく、丸みを持たせる事。
 - ・使用されていないステーや突起物は、取り外すか先端をウエス等で保護する事。
 - ・出荷時の外観を著しく損なわれていない事。(ツッパリテールは不可)また、シートカウル及びシートが付いていない車両では走行できない。
 - ・4stロードバイクに関しては、故障時のオイル漏れに備えアンダートレー(カウル)を装着している事が望ましい。また、転倒時のオイル飛散防止のため、スライダーコーン、クラッチケースカバーガード(二次カバー)、ハンドルストッパー切れ角制限パーツのいずれかを必ず装着する事。
 - ・走行音量は、全車99.0db以下とする。ただし、測定環境等による+2.0dbの誤差は許容範囲とする。測定時の気温が5℃を下回る場合はさらに+1dbまでとする。測定方法としては、ストレート脇のコンクリートウォールに測定器を設置し、実際にマシンが通過した際の音量を確認するものとする。モタード車両に関してはスーパーモト技術規則に沿って2m-max法にて音量測定を行う。その際の最大音量は112.0dbとし、許容誤差は+2.0dbまでとする。いずれもレース当日の測定は近隣の迷惑となるため、参加者はなるべく事前に音量測定を受け、サイレンサーに合格印としてマーキングを受けること。
 - ・ゼッケンはフロントとマシンの両サイド、合計3箇所に見やすい色、大きさ、書体を考慮し表示する事。文字色は白か黒に限定される。CBR250R DREAM CUPはそのレギュレーションに沿っている事。視認性の悪いものは車検で認められない場合があるので事前に確認のこと。

※上記の項目はあくまでも最低限の車両規定です。走行前にしっかりとマシンの状態をチェックし、安全な状態である事を確認してからコースインしてください。特にブレーキトラブルやオイル漏れに関しては、他の選手やコース自体にも多大な損害を与える可能性があるため特に注意してください。

SS KILLRES ! に出てみたいけど...自分は何のイベントに参加出来るの？

革つなぎ・フルフェイスヘルメット有

革つなぎ・フルフェイスヘルメット無

- ・サーキットツーリングでコースデビュー！
- ・お昼休みの試乗会・一本橋等のイベントに参加。
- ・観戦ついでに走行会枠で気軽にスポーツ走行。
- 肝心のレースに出たい方は、下のチャートへGO！

- ・サーキットツーリングでコースデビュー！
- ・お昼休みの試乗会・一本橋等のイベントに参加。
- ・そして何より...レースを観戦しよう！

401cc以上の
ロードバイク

400cc以下の
ロードバイク

400cc以下の
市販モター
ド・CRF150

401cc以上の
市販モター
ド

レース用
モター
ド

ゴメンナ
サイ...該当
レースが
ありません。

ノービスC (新コース52秒~)

ノービスB (新コース50~52秒)

ノービスA (新コース48~50秒)

プロGRESS (新コース47~48秒台)

←2st 4st→

←単気筒

多気筒→

←250cc2気筒以下

それ以外→

single2(
新コース
45~47秒
台)

multi2
(新コー
ス43~46
秒台)

twin4 (新
コース45
~47秒
台)

multi4
(新コー
ス44~46
秒台)

モター
ド
SP-MID
(新コース
47
~48秒台)

モター
ドMID
(新コース
46
~47秒台)

モター
ドSP-E
(新コース
44
~
46秒台)

モター
ドE
(新コース
44
~
45秒台)

モター
ドSE
(新コース
41
~
43秒台)

↑
ノン
ビリ

↓
ガ
ツ
リ

※2・4戦開催時はミドルコースとなる為、新コースのタイムより2秒を引いたタイムが目安となります。